

東京大学大学院 情報学環 渡邊英徳研究室、ダーウィンエデュケーション株式会社との3者共同で実現  
次世代への継承を目指し、被爆者の証言や全国の生協が取り組む平和活動を公開する

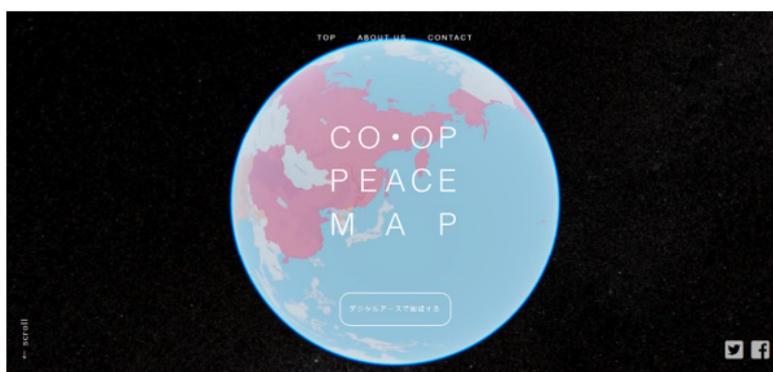
## 「コープ ピースマップ」開設

～平和を願う市民からのメッセージや被爆者の証言を地図上に可視化～



日本生活協同組合連合会

日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連、代表理事会長：本田英一）は、東京大学大学院情報学環 渡邊英徳研究室およびダーウィンエデュケーション株式会社と共同で、ヒロシマ・ナガサキの被爆者の証言や全国の生活協同組合が取り組む平和活動を、インターネット上の地球儀「デジタルアース」に表示する「CO・OP PEACE MAP（コープ ピースマップ）」を開発、公開しました。（推奨ブラウザ：Google Chrome）  
特設サイト：<https://coop.archiving.jp/> デジタルアース：<https://coop.archiving.jp/map/>



原爆投下から75年が経ち、被爆者の体験をどのように伝えていくかが課題となっています。

生協では「平和とよりよい生活のために」をスローガンに掲げ、暮らしの中から平和への想いを考え語り合う活動や戦争・被爆体験者の証言を聞く集まりなど、多岐にわたる平和活動に取り組んでいます。また、東京大学大学院 情報学環 渡邊英徳研究室はこれまで、ヒロシマ・ナガサキの被爆者の体験と想いを未来に継承するため、被爆証言と写真をデジタルアースに表示し、俯瞰的に閲覧できる「ヒロシマ・アーカイブ」「ナガサキ・アーカイブ」を構築してきました。

このたび開設した「コープ ピースマップ」は、日本生協連が主体となり、渡邊英徳研究室の監修のもと、ダーウィンエデュケーションがシステムを構築した特設サイトです。

全国各地で生協が行う平和活動や、特定非営利活動法人ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会による「未来につなぐ被爆の記憶プロジェクト」の被爆体験記をデジタルアースに表示します。さらに、平和を願うメッセージをどなたでも投稿することもできます。

### ●「CO・OP PEACE MAP（コープ ピースマップ）」でできること

#### 1. 調べる

全国の生協が各地域で取り組む平和活動を検索できます。さらに、デジタルアース上で核兵器保有国を色分けして表示します。



メニューから、閲覧内容を絞って表示できます。「生協活動」「未来につなぐ被爆の記憶」「メッセージ」から選択できます。



地図上に表示された写真のアイコンをクリックすると、全国の生協が取り組む平和活動を知ることができます。

※写真は広島県に表示される「2019 ピースアクション in ヒロシマ」の例



## 2. 読む

地球のアイコンをクリックすると、ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会 (<http://kiokuisan.com/>) が進める「未来につなぐ被爆の記憶プロジェクト」の被爆証言を閲覧できます。各証言は、全国の生協が編纂した被爆証言集をはじめ、その証言が掲載されている証言集などにリンクされています。

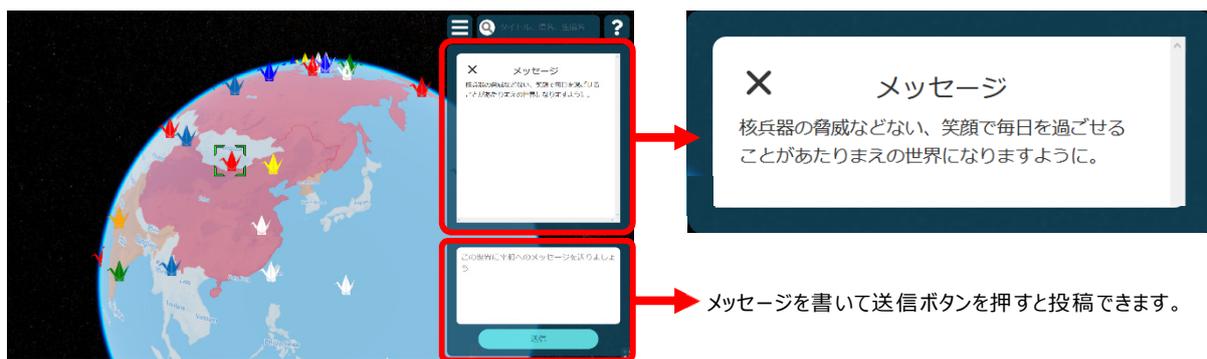


地図上に表示された地球のアイコン（左）をクリックすると被爆者の証言や、全国の生協が制作した被爆の証言集を閲覧できます。

全国の生協が制作した証言集を Web 公開しています。

## 3. 参加する

「コープ ピースマップ」に平和へのメッセージを投稿できます。投稿されたメッセージは、デジタルアース上に折り鶴のアイコンとして表示されます。



地図上に表示された折り鶴のアイコンをクリックすると、投稿された平和へのメッセージを読むことができます。

メッセージを書いて送信ボタンを押すと投稿できます。

日本生協連は、組合員の平和への想いを大切にしながら、平和な社会をめざす活動を推進してまいります。

### 「CO・OP PEACE MAP (コープ ピースマップ)」概要

特設サイト: <https://coop.archiving.jp/>

デジタル地球儀: <https://coop.archiving.jp/map/>

主催: 日本生活協同組合連合会

システム監修: 東京大学大学院情報学環 教授 渡邊 英徳

システム構築: ダーウィンエデュケーション株式会社

推奨ブラウザ: Google Chrome

### <お問い合わせ先>

日本生協連 広報部

TEL: 03-5778-8106

東京大学大学院情報学環 教授 渡邊英徳研究室

E-mail: [hwtvnv@iii.u-tokyo.ac.jp](mailto:hwtvnv@iii.u-tokyo.ac.jp)

ダーウィンエデュケーション株式会社 馬場英道

E-mail: [info@darwineducation.com](mailto:info@darwineducation.com)

## <参考資料>

### ● 日本生活協同組合連合会について

「平和とよりよい生活のために」という理念のもと、全国の生協とともに平和活動「ピースアクション」に取り組んでいます。

ピースアクションは、戦争・被爆体験の継承や、世界のさまざまな戦争や紛争、基地問題、憲法など、多角的なテーマで平和を考える取り組みです。戦跡や記念館・資料館、美術館など、地元にある戦争に関する施設や遺構を見学し、身近なところから戦争の実相を考える活動を行っています。

※詳細はHPをご覧ください：<https://jccu.coop/activity/future/>

### ● 東京大学 大学院 情報学環 渡邊英徳教授 プロフィール

1974年、大分県生まれ。東京大学大学院情報学環教授。首都大学東京システムデザイン学部准教授、ハーバード大学ライシャワー日本研究所客員研究員などを経て現職。情報デザインとデジタルアーカイブによる記憶の継承のあり方について研究を進める。これまでに「ヒロシマ・アーカイブ」「ナガサキ・アーカイブ」などを制作。岩手日報社との共同研究成果「忘れない：震災犠牲者の行動記録」は日本新聞協会賞（2016年）を受賞。

### ● ダーウィンエデュケーション株式会社

ダーウィンエデュケーション株式会社は、デジタルアーカイブや知的活動の支援を主とする会社（チーム）です。我々はアナログ・デジタルを超えたデータの整理・活用を推進し、知的創造の溢れる豊かな世界を目指します。デジタルアーカイブの面では、丈夫でやわらかいデータベース「APLLO」や、連携するビジュアライゼーションツールである「Re:Earth」を開発し、また、知的活動支援では、教師による教師のための教育支援動画プラットフォーム「Mapup」や、その土台となる教育システム「Nostrum」などの開発・運用を行っています。

## <その他のご案内>

### 8月4日（火）開催 渡邊英徳教授による「デジタルアーカイブ等を活用した新たな継承学習会」

日本生協連が主催する「2020ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキ」（日程：2020年8月4日～8月8日）では、8月4日（火）10:00より、渡邊英徳教授による「デジタルアーカイブ等を活用した新たな継承学習会」をライブ配信します。本学習会では、渡邊教授が取り組む「ヒロシマ・アーカイブ」等についてご紹介いただきます。

日時	2020年8月4日（火）10:00～12:00
開催形式	ライブ配信
内容	東京大学の渡邊英徳教授に、証言や写真など被爆に関するさまざまな資料がデジタル地球儀上で閲覧できる「ヒロシマ・アーカイブ」や、白黒写真をカラー化する「記憶の解凍」などの取り組みについて説明いただきます。参加者は専用アプリを操作いただきながら学習します。

※ご取材希望の場合は下記までご連絡をお願いいたします。追って詳細をご連絡いたします。

日本生協連 広報部 TEL：03-5778-8106